

【卸売業】
→前号並み

9991 ジェコス
【決算】3月【設立】1968.6
【上場】1994.8

【特色】仮設鋼材リースの最大手。建機レンタルでも大手。旧川崎製鉄(現JFE)系。工事にも実績。
【連結事業】重仮設(89%)、建設機械(11%)

【連続増配】仮設鋼材リースは首都圏再開を継続。低採算の資材販売は抑制。建機は中古販売減少響く。人件費、運送費増もあり営業益反落。配当方針見直し増配。3月期は再開案件軸に鋼材リース順調。【設計強化】専門工事の設計事業を強化。国内の約15%をカバーするベトナムの設計スタッフを増強。連結配当性向は40%程度。

【株主】⑧8,560名<24.9> 株

JFEスチール	932(27.5)
みずほリース	676(20.0)
JFE商事	296(8.7)
日本マスター信託口	176(5.2)
自社取引先持株会	108(3.2)
日本カストディ信託口	71(2.1)
自社社員持株会	69(2.0)
JFE商事資材販売	52(1.5)
JFE商事コイルセンター	51(1.5)
DFAInt'l スモールキャップパリュプ	28(0.8)
<外国>	6.7% <浮動株> 8.7%
<投信>	3.2% <特定株> 72.9%

【役員】(副)野房喜幸 (副)田村 拳勝 石澤毅 佐藤健介* 浅野幹雄* 村田恒子* (監)井澤信之 野神光弘* (監)山内宏和 上田美帆*

【連結】 レンタルシステム

【株式】100株 33,795千株
時価総額 325億円
【財務】<連24.9> 前月

総資産	101,618
自己資本	64,023
自己資本比率	63.0%
資本金	4,398
利益剰余金	53,663
有利子負債	2,278

【指標等】<連24.3>

ROE	7.2%	↑6.5%
ROA	4.1%	↑4.1%
調整1株益	1円	
最高純益(15.3)	5,420	
設備投資	3,457	↑
減価償却	3,279	↑
研究開発	40	↑

【キャッシュフロー】前月

営業CF	2,062(2,952)
投資CF	▲4,799(▲4,750)
財務CF	▲894(▲3,728)
現金同等物	1,135(4,767)

年別【資本異動】

95.5	分1→1.1	3,011
96.5	分1→1.1	3,312
97.5	分1→1.1	3,643
23.2	消却	3,379

東証P

94~22	高値 1940(14)	安値 240(0)
23	1074(12)	821(1)
24.1~11	1225(2)	772(8)

高値 安値 出来高

24.9	971	876	64
10	984	850	86
#11	1007	955	76

【増減回数】増5 減0 振5 無0
【総還元性向】30.7%(3期平均57.1%)
【四半期進捗率】3期平均39.8%
【今年】50.0%(+10.2pt)

【業種】建設関連製品・設備
時価総額順位 19/72社
【比較会社】2445 タカミヤ、8046 丸藤パイル、9763 丸紅リース

【業績】(百万円)	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株益(円)	1株配(円)	【配当】	配当金(円)
連20.3	114,327	6,316	6,708	4,406	121.1	35	23.3	20
連21.3	110,206	6,072	6,500	4,549	125.0	35	23.9	17
連22.3	113,997	4,705	5,238	3,326	91.4	35	24.3	23
連23.3	120,521	4,503	4,903	3,428	95.1	35	24.9	20
連24.3	128,194	6,244	6,602	4,414	130.6	40	25.3	28
連25.3	115,000	5,600	6,100	4,150	123.3	48	25.9	20~21
連26.3	120,000	5,800	6,300	4,300	127.8	48~50	26.3	28~29
連24.4~9	53,781	2,752	2,729	1,756	52.0	20	予配当利回り 4.99%	
連25.4~9	54,000	2,850	2,830	1,800	53.5	20~21	1株配(円)<連24.9>	
会25.3	115,000	5,500	6,000	4,100	(24.4.25発表)		1,903(1,862)	

【本社】112-0004東京都文京区後楽2-5-1
住友不動産飯田橋ファーストビル ☎03-6699-7401
【支店】大阪、東北、横浜、名古屋、広島、四国、九州、他6
【営業所】10【工場】12
【従業員】<24.3>連1,385名 〒766路(42.1歳) 男740 女
【証券】東京P 野村(副)大和、日興 三井住友信託 新日本
【銀行】みずほ、三井住友、三菱U
【仕入先】—
【販売先】ゼネコン各社

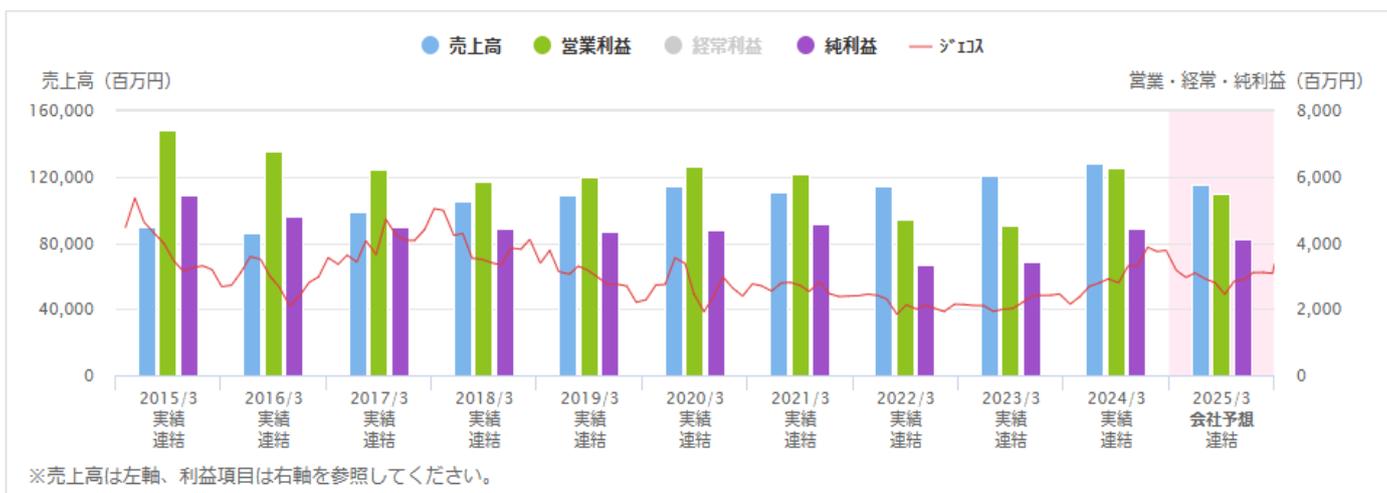
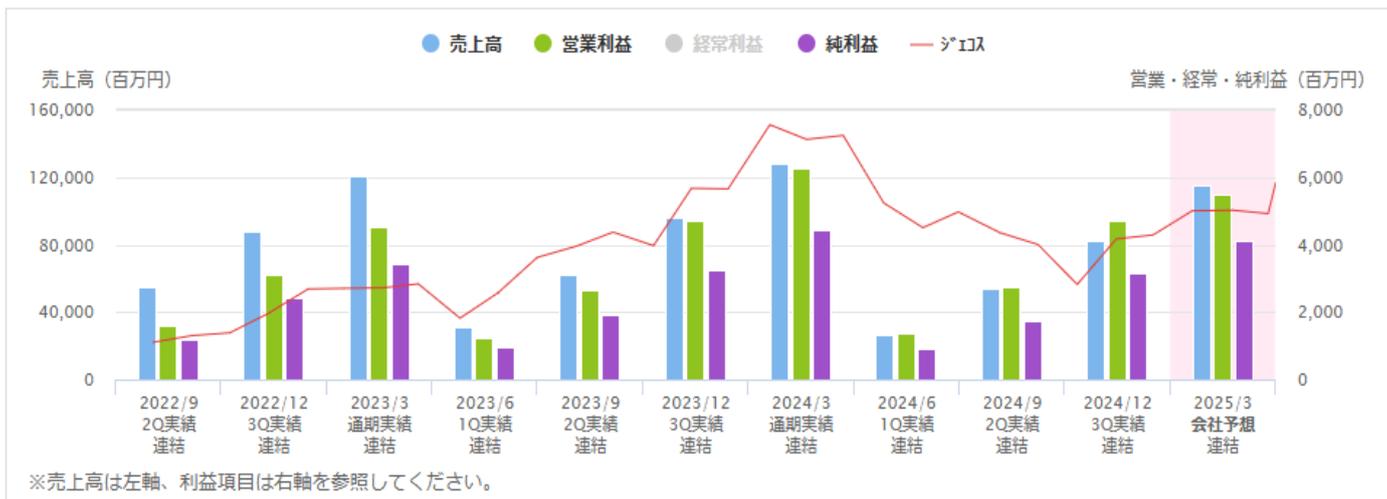
2025年1集

<https://www.gecoss.co.jp/>

2025/03/06の株価 東証プライム

1,070 円	年初来高値	1,225.0 円	(2024/02/02)
前日比較 +24 円	年初来安値	772.0 円	(2024/08/05)
+2.29 %	上場来高値	1,940.0 円	(2014/09/03)
売買高 54,600 株	上場来安値	240.0 円	(2001/01/12)
売買代金 58,422,000 円	時価総額	36,161.44 百万円	
始値 1,049 円	発行済み株式数	33.79 百万株	
高値 1,070 円	予想PER	8.7 倍	
安値 1,048 円	予想配当利回り	4.48 %	
52週高値 1,197 円	実績PBR	0.54 倍	
52週安値 772 円	(2024/03/24) 株価レーティング		(予想社数: 0)
	(2024/08/05) 目標株価		(予想社数: 0)







2024年10月29日

各位

会社名 ジェコス株式会社
代表者名 代表取締役社長 野房 喜幸
(コード: 9991、東証プライム)
問合せ先 経営企画部長 谷垣 顯治
(TEL. 03-6699-7404)

剰余金の配当（中間配当）の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ

当社は2024年10月29日開催の取締役会において、2024年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）および2025年3月期の期末配当予想の修正について決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の決定の内容

	決定額 (2025年3月期中間)	直近の配当予想 (2024年4月25日公表)	前期実績 (2024年3月期中間)
基準日	2024年9月30日	同左	2023年9月30日
1株当たり配当金	20円	15円	17円
配当金の総額	676百万円	—	575百万円
効力発生日	2024年12月2日	—	2023年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	円 銭 15.00	円 銭 22.00	円 銭 37.00
今回修正予想		28.00	48.00
当期実績	20.00		
前期実績	17.00	23.00	40.00

3. 理由

当社は、2024年10月29日開催の取締役会において、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」について決議いたしました。次期中期経営計画（2025-2027年度）においては、財務健全性とのバランスを取りつつ成長投資を積極的に行うことで利益拡大を図り、併せて株主還元とIR活動を強化してまいります。このうち株主還元については、配当方針を現中期経営計画の「配当性向30%程度」から「配当性向40%程度、DOE（株主資本配当率）2.5%以上」に見直し、今年度から早期適用することとしました。この方針に基づき、2025年3月期の中間配当は直近の配当予想から1株あたり5円増額して20円に決定し、また期末配当予想につきましても1株あたり6円増額し、28円に修正することを決定いたしました。これにより、年間配当予想は前回予想から11円増配の48円となります。

なお、配当方針の詳細につきましては、本日公表の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご参照ください。

以上

BPS ¥1,903.- × DOE 2.5% 下限一株配当金 47.57円

DAIBOUCHOU 氏が防衛関連で注目する意外な割安銘柄
日経平均の先行きはどうか？

DAIBOUCHOU
2025/03/06 07:00

日経平均株価のチャートを見ると、昨年 10 月あたりからずっとボックス圏での推移が続いていました。上値は 4 万 300 円前後。ここまで上がると売りに押されて、日経平均株価は下落するものの、大体、3 万 7000 円台で下げ止まり、上値トライを繰り返す、そんな相場展開でした。

しかし、2 月 28 日にはザラ場安値で 3 万 6840 円まで下落し、ややボックスを下げられました。この先、日本株市場は弱気モードに転じるのかどうか、その行方が気になるところです。

円高圧力が強まる機運

1 つ明確なのは、輸出関連企業はこれから少し様子見かな、ということです。円高圧力が強まりそうな中、今後の業績へのリスクが高まっているためです。

まず金利ですが、日本の金利が上昇し始めている一方、米国は利下げムードが強まっています。トランプ大統領は、関税引き上げなど国内物価の上昇圧力を強めるような政策を志向しているにもかかわらず、金利上昇は嫌いという人物なので、恐らくこれから FRB に対して、利下げの牽制球を投げかけてくるでしょう。

こうして日本の金利が上昇すると同時に、米国の金利が低下すれば、日米金利差が縮小します。これは円高要因になります。

また、トランプ大統領が 3 月 3 日、日本円と中国人民元が対ドルで「不公平に値下がりしている」ことを指摘し、是正を求めたというニュースが流れてきました。もしこれを是正しない場合は、日本の輸入品に対して追加関税を課す可能性も匂わせています。

これらの状況から考えると、しばらく円高圧力が強まりそうです。となると、日経平均株価にとってはやや厳しい状況が続くのかもしれません。何しろ、同平均株価を構成する 225 銘柄には、円安で稼いでいる輸出関連企業が多く含まれているからです。

停戦の兆しは株価に好影響

したがって、これから投資するのであれば、輸出関連企業はひとまず避けるのが良いでしょう。ただ、株式投資の環境そのものは、徐々に改善されていくと見ています。なぜなら、2022 年 2 月から続いているロシア・ウクライナ戦争に、ようやく停戦の兆しが見えつつあるからです。

トランプ大統領とゼレンスキー大統領の会談は、ケンカ別れのような形で終わりました。一方、地続きでロシアからの脅威にさらされている欧州 16 カ国の首脳は、3 月 2 日にロンドンで会議を開き、停戦後に有志連合による平和維持部隊をウクライナに派遣する計画で合意したのに加え、欧州独自の停戦案を米国に提示して、協力を求めるという方針を決めた、とのこと。加えてイギリスとフランスが、トランプ大統領とゼレンスキー大統領の関係修復に動いているという話も、ニュースを通じて伝わってきました。

一体、どこが落としどころになるのか、まだ見えてきてはいませんが、「停戦」という二文字が徐々に報道されるようになりました。これは、株式市場にとってポジティブな材料といっても良いでしょう。

この戦争が始まって3年。これだけの時間が経過すると、往々にして人々は、その環境に慣れてしまいます。でも、よく考えてみてください。ロシア・ウクライナ戦争が始まって以降、原油やガスといったエネルギー価格が高騰しました。戦争勃発直後に大きく値上がりした後、徐々に落ち着きを取り戻していますが、戦争終結となれば、価格が上に大きく跳ね上がるリスクが無くなります。そうなれば世界的にインフレも落ち着きを取り戻し、金利は低下します。それに加えて、今後はウクライナの復興需要も出てくるでしょう。

それとともに、3年もの間、戦争状態になったウクライナは、日本にとって決して他山の石ではありません。何しろ日本の周囲には、台湾海峡問題や北朝鮮問題などさまざまな地政学リスクがあります。台中戦争が現実化したら、日本も巻き込まれるかもしれませんし、その時、どこまで米国の軍事支援を受けられるのか、少なくともトランプ政権の最中は明確に見えてきません。

防衛関連で狙い目になる銘柄

その意味では、恐らくこれから先、日本の防衛産業に対する関心が高まってくると思います。

防衛産業というと、多くの方は三菱重工業（7011）やIHI（7013）を真っ先に連想すると思いますが、戦車や航空機、護衛艦といった直接、武器などの製造に関連した企業よりも、その周辺で防衛を支えている企業が狙い目です。たとえばサイバーセキュリティやドローン、あるいは基地の強化をはかるための土木や建築、基地を設計する建築コンサルタントなどが、広義の防衛産業と考えられます。

その観点から注目している銘柄の一つが、ジェコス（9991）です。JFE系の企業で、仮設鋼材リースの最大手企業です。建機レンタルでも大手に入ります。

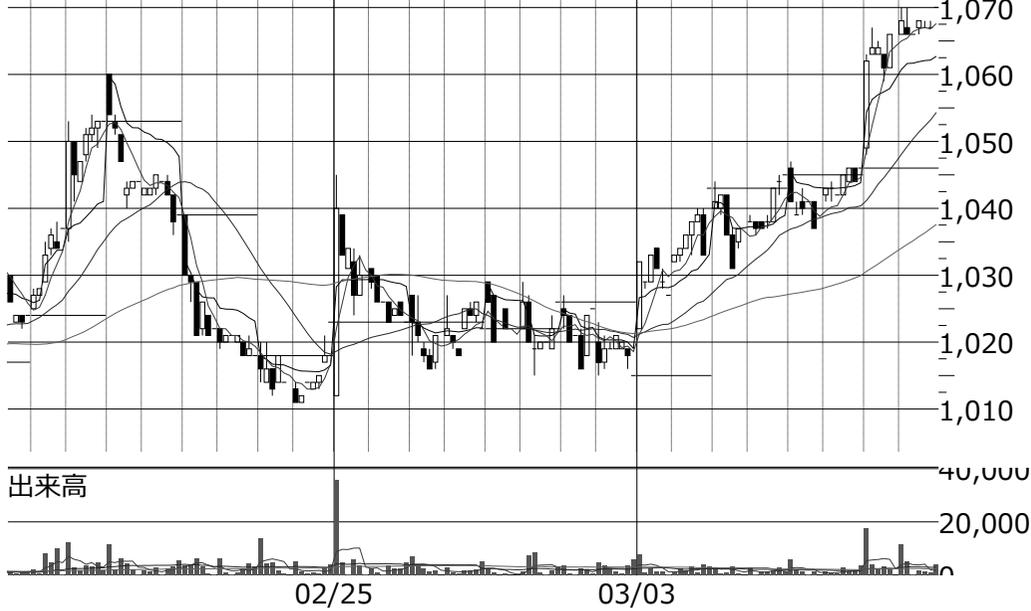
仮設鋼材リースの最大手が防衛産業かと疑問に思われるかもしれませんが、もし戦争に巻き込まれた時、国内の橋が爆破されたりすると、自衛隊の移動に支障が出ます。だからこそ橋を頑強なものにしておく必要性が、これから生じてくるでしょう。そして、橋の強靱化工事を行う場合、交通を完全に止めるわけにはいかないのです、近くに仮設の橋を架けます。こうした仮設の橋を架ける時などに活躍するのが、ジェコスなのです。

防衛だけでなく、これからの日本はインフラの老朽化が大きな課題になりますから、その強靱化に必要とされるビジネスを担っている企業は、投資のテーマとしても注目されます。配当利回りが4.6%、PERが8.5倍、PBRが0.5倍というように株価は割安ですし、内需を中心に行っている企業なので、円高による売り上げ減の影響も受けずに済みます。

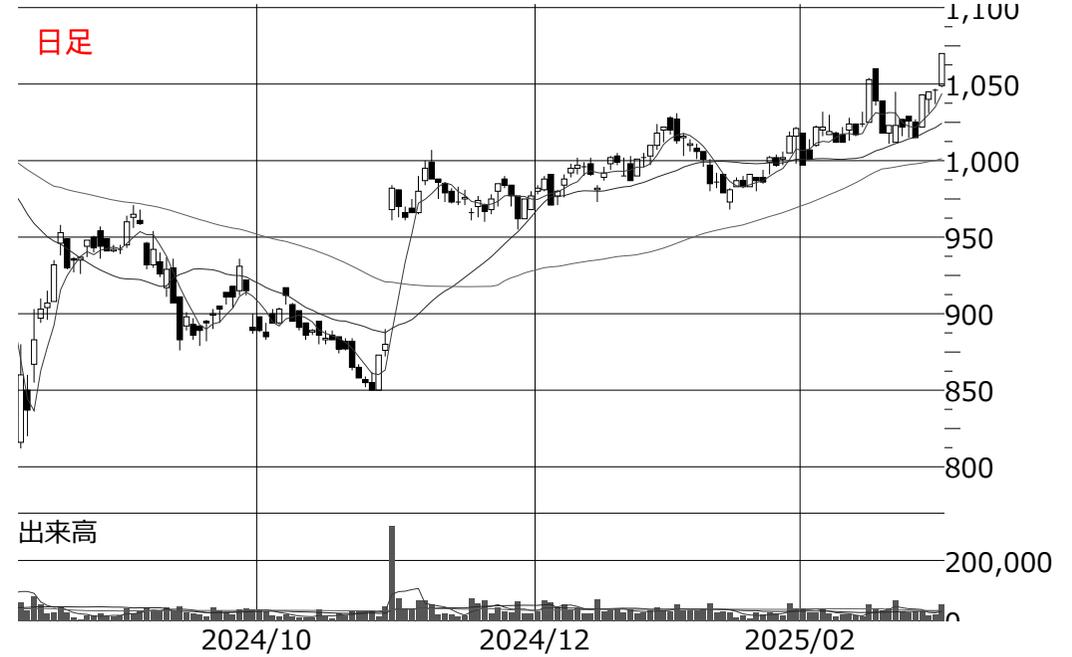
9991 ジェコス 東P 30分足 2025/02/17 14:00 ~ 2025/03/06 15:30 / 9991 ジェコス 東P 日足 2024/08/07 ~ 2025/03/06

9991 ジェコス 東P 週足 2022/07/08 ~ 2025/03/07 / 9991 ジェコス 東P 月足 2013/08 ~ 2025/03

30分



日足



週足



月足

